

2000年5月22日

株式会社クラレ

レーヨン事業の撤収について

当社は、需要が年々減少し、将来的にも事業採算性が見出せないレーヨン事業の継続を断念することを本日決議し、同事業を撤収することと致しました。

概要は下記の通りです。

記

1. 背景・撤収理由

レーヨンは独特の光沢と風合を持ち、吸湿性・ドレープ性に優れた繊維として戦前・戦後を通じ一時代を画しましたが、その後ポリエステルやアクリル等合成繊維が大幅なコストダウンを実現し、また各種機能を付与してきた中で世界的に市場縮小を続けて参りました。

当社レーヨン事業についてもコスト合理化努力を重ねて参りましたが、内需・輸出ともに販売量の長期低落傾向に歯止めがかからず、生産量の減がさらにコストを押し上げる状況が続き、将来とも厳しい事業運営が予想されます。

また、生産を行っている玉島工場（岡山県倉敷市）では、設備の老朽化が進みつつあり事業継続のためには更新投資が必要ですが、将来に亘り採算の回復が期待し難い環境の下で投資回収は困難と見通される状況です。

以上から、レーヨン事業の今後に事業性を見出し得ず事業を撤収することと致しました。

2. スケジュール

2001年3月末をもって、玉島工場のレーヨン生産設備を停止します。

また、販売については、2001年上期中に終息する予定です。

3. レーヨン事業に従事する社員の取扱い

レーヨン事業に携わる人員（約200人）については、生産停止後クラレ本体及びグループ会社で雇用を確保する予定です。

4. 当社のレーヨン長繊維の歴史

西暦(年号)	内 容	生 産 量
1928(昭和 3)年	倉敷工場で生産開始	-
1936(昭和 11)年	西条工場で生産開始	-
1956(昭和 31)年	玉島工場で生産開始 (中央繊維と合併で玉島レイヨンを設立。64年に吸収合併)	-
1973(昭和 48)年	-	年間生産量26,000トンで、生産量のピークとなる。
1974(昭和 49)～ 1983(昭和 58)年	-	年間24,000トンの生産量で推移。
1987(昭和 62)年	倉敷工場の生産を停止	年間17,600トン
1995(平成 7)年	西条工場の生産を停止	年間 8,000トン
1999(平成 11)年	-	年間 7,000トン
2000(平成 12)年	-	年間 6,000トン(見込)
2001(平成 13)年3月	玉島工場の生産を停止(予定)	-

以 上